



教育委員コラム

発行元
弟子屈町教育委員会
教育長 小林 俊夫
職務代理 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
委員 金井 秀明
委員 吉田 一徳



北海道 弟子屈町
Teshikaga Town

弟子屈町教育委員会

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

川島先生の講演を聞いて

教育委員 榎本 悦子

11月18日、町PTA研究大会が弟子屈小学校で開催されました。

後半、東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太先生の講演は「生活習慣と子どもの心身の発達～脳科学から見るネット社会の影響～」と題し、急激に普及するスマホが子供の脳に悪影響を与えるという内容でした。



勿論、スマホの使いすぎは良くないことは誰もが思うことですが、仙台市の7万以上の子供達を数年にわたり学力や生活状況の調査をしたり、MRIなどを使って脳の働きを調べた結果というのですから重く受け止めなければいけません。人間だけが発達しているという前頭前野や記憶をつかさどる海馬はテレビやゲームやスマホを使っては発達しないということ。

それどころか使い過ぎは前頭前野の働きが抑制されてしまうというのです。例えば言葉の意味を調べるときに紙の辞書で調べると前頭前野はおおいに活動するけれど、スマホを使ってでは働きが抑制されるというのです。

「早寝早起き朝ごはん」は子育てに定着した言葉ですが、これからは「ゲーム・スマホは1時間」など新たな呼び掛けも必要だと思います。現代の子は音楽を聴き、ラインをしながら勉強をしているようですが、その効率の悪さや脳の働きをきちんと教えて子供達の脳を育てる環境づくりをしなくてはなりません。

ところで、こんな最高級の自然に囲まれている弟子屈町の子供達にはもっと感性に響く遊びがたくさんあるのと思うこの頃です。

次回リレーコラムは菅原委員です。





教育あっちこっち情報



スマートフォン、SNSの利用について

教育委員 金井 秀明

11月釧路方面少年補導員連絡協議会の会議に出席しました。その中でLINE株式会社公共政策室、高橋誠氏の講演がありました。

演題は「子供がインターネットを利用する際の注意事項、みんなで考える情報モラルとコミュニケーション」でした。大変勉強になった講演で、一部を紹介したいと思います。

今の子供たちは他律（ルール）を大人から散々聞かされている。他律から自律に持っていくべき。親と一緒に考え行動する。例えば夜10時以降は親子でスマホを見えない所に置く等。悪口やいじりに関しては、「相手の嫌な事をしない」とルールを教えるだけでなく、日常モラル+ネットの特性+想像力判断力の3つの視点を情報モラルとして教育する必要がある。他人に対しての想像力の欠如はSNSのみならず、一般社会でも必要だと思います。

弟子屈中学校研究会・公開授業

教育委員 菅原 誓之

この時期、町内各学校では公開研究会が行われ、11月16日に弟子屈中学校の公開授業を参観させていただいた。

研究主題「主体的に学習する生徒の育成～わかる・できる授業の実践をとおして～」をテーマに3年A組の英語科を参観しました。授業の挨拶なども、先生と生徒の英語での会話から始まり、内容は新しく来町したALTに弟子屈の魅力スポットを紹介する英文を考える、というものでした。

この研究会には町内各学校の先生だけではなく、根室や釧路管内の先生が沢山参加され、子供達の学習意欲をいかに前向きなものにするか、という熱心な姿勢が伺えました。



川湯小学校でピアノの発表会がありました

職務代理 榎本 悦子

11月25日川湯小学校で「りらピアノ教室」の発表会が開催されました。

このピアノ教室には川湯や美留和の子供たちが習っています。例年は弟子屈の福祉センターを会場にしていたのが今年は他の行事があり、川湯小学校が会場となりました。やはり地域の学校は行きやすいのでしょう、当日は地域の方々や小学校や中学校の先生方がたくさん見に来てくれて、例年より盛況な発表会となったようです。また、ピアノの状態も良いとのこと弾き手にも好評でした。

学校行事以外で小学校に行くのは初めてでしたが、コミュニティスクールとして地域の方々が学校に関心を持ってもらえる一つだと感じました。



「釧路管内学校教育研究大会」弟子屈町で開催

教育長 小林 俊夫

10月2日午後1時20分から釧路管内町村の小中学校の教職員が一堂に会し、釧路教育研究所の主催による「平成30年度釧路管内学校教育研究大会弟子屈大会」が弟子屈町内の各学校を会場で開催されました。この事業は毎年7町村持ち回りで開催され、本年度は昨年度開催地となった鶴居村から引き継がれ、本町での開催となりました。

参加した教職員は279名、来賓や助言者の皆さんを加えると総勢約300名となりました。最初に体育・数学・外国語活動・道徳・特別支援の5つの部会に分かれて各学校で「授業公開」が行われた後、弟子屈小学校に会場を移して開会式が行われ、主催者である湊谷釧路教育研究所長の挨拶の後、吉備津副町長から地元歓迎の挨拶、鈴木釧路教育局長と國安釧路管内町村教委連会長からは祝辞を頂きました。続いて、各研究所の活動報告が行われた後、7部会に別れて「研究協議」が行われ終了しました。

教職員の資質・能力が厳しく問われている時代にあって、教職員が互いに教育現場を直視しながら研鑽を深めることは大変なことであり、今後とも、釧路管内が一丸となって教職員の資質向上に努めて頂くよう心から期待しているところです。



新任教育委員研修

教育委員 吉田一徳

11月20日に行われた研修会に参加してきました。新任研修とあって、教育委員の役割とは何ぞやというところから委員に今の時代に求められている事とは等、幅広い内容の研修でした。特に道教育委員の鶴羽さんの実体験を基にしたお話では、年数が経つにつれて学校に対する見方が変わってくるという話はとても参考になりました。

また、全道から新任委員が集まっているのでそれぞれの境遇等も話す機会があり、互いに大変だけど頑張って教育に尽くして行こうと確認し、雪空の札幌の街へ散っていきました。

★ ★ 編集後記 ★ ★

12月に入り慌ただしくなりました。日の暮れるのも早くなり、道路状況も日々変化してきます。出勤や登下校、車の運転や歩行者などに注意し、交通安全に努め、残り少ない平成最後の師走を無事に乗り切りたいものです。

(菅原)